

決算報告書

(第 5 期)

自 2021年 4月 1日

至 2022年 3月31日

株式会社ラクspartnerズ

貸借対照表

2022年 3月31日 現在

株式会社ラクスパートナーズ

(単位： 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	1,367,100	【流動負債】	559,477
現金及び預金	849,010	未払金	121,007
売掛金	485,101	未払費用	194,309
貸倒引当金	-2,910	未払法人税等	73,496
前払費用	35,382	未払消費税等	107,643
その他	516	契約負債	45,591
【固定資産】	227,775	その他	17,429
【有形固定資産】	47,931	【固定負債】	696
建物	38,086	長期未払費用	696
工具器具備品	9,845	負債の部合計	560,174
【無形固定資産】	2,526	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	2,526	【株主資本】	1,034,701
【投資その他の資産】	177,317	資本金	20,000
差入保証金	82,375	利益剰余金	1,014,701
繰延税金資産	94,942	その他利益剰余金	1,014,701
		繰越利益剰余金	1,014,701
		(うち当期純利益金額)	257,534
		純資産の部合計	1,034,701
資産の部合計	1,594,876	負債及び純資産合計	1,594,876

注 記 表

株式会社ラクスパートナーズ

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年
工具、器具及び備品	5年～6年

(2) 引当金の計上基準

貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については法定繰入率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込み額を計上しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

IT人材事業においては、ITエンジニアに特化した正社員派遣サービスを提供しております。このようなサービスの提供については、派遣エンジニアによる労働力の提供に応じて当該履行義務が充足されることから、派遣期間における稼働実績に応じて、各月の収益を認識しております。

会計方針の変更に関する注記

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

また、収益認識会計基準等の適用に伴い、前事業年度の貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当事業年度より「契約負債」に含めて表示しております。